

平成 30 年度地震・津波防災訓練 (内閣府・上天草市)

実施報告書 (概要版)

熊本県上天草市について

上天草市は、熊本県西部に位置し、急峻な山ひだが海岸線まで迫る地域や、緩やかな丘陵地が広がる地域、離島など、多様な地形で構成されている。

地勢的な特徴から、風水害に多く見舞われ、なかでも、昭和 47 年の天草大水害では、洪水、土砂崩れ、土石流などにより記録的な災害となった

近年は総合防災訓練を通じた関係機関の連携の強化や防災マップの作成などを進めてきたが、平成 28 年の熊本地震の際には、津波注意報に伴い市内では避難する自動車で道路が渋滞してしまう課題が生じ、地域特性に応じた避難の方法の確立と啓発が訓練の着眼点となった。



地図出典：国土地理院

訓 練 概 要

- 訓練想定：10月28日（日）午前9時頃、南海トラフを震源とするマグニチュード9の地震が発生し、上天草市では震度6弱の揺れを観測。気象庁は「2時間以内に高い津波」の津波警報を発表した。揺れから身を守った市民らは、沿岸部では高台への避難を、山間部では強い揺れによる土砂災害を警戒し、指定避難所へ集合した。防災関係機関は情報伝達や避難誘導等の初動対応を開始した。その後、自宅を失った市民は相互に協力し合い、避難生活を開始した。
- 実施日時：平成30年10月28日（日） 9：00～12：30（会場により異なる）
- 実施地区：龍ヶ岳町、大矢野町、松島町（松島中学校・教良木地区）
- 主 催：上天草市、内閣府
- 参加者数：1,100名
- 参加機関：実施地区内の自主防災組織・小学校・中学校、上天草さんぱーる株式会社、天草ケーブルテレビネットワーク株式会社、上天草市立上天草総合病院、社会福祉法人上天草市社会福祉協議会、上天草市地域婦人会連絡協議会、上天草市消防団、天草広域連合北消防署、国土交通省九州地方整備局、熊本県天草広域本部、熊本県警察本部上天草警察署、海上保安庁熊本海上保安部

訓 練 の 評 価

訓練当日は地域住民や関係機関等合わせて約1,100名が、終始熱心かつ真剣な態度で訓練に取り組んだ。訓練実施後、参加者アンケートの結果分析やふりかえり会議の実施により、今後の防災対策や訓練の参考となるよう「得られた成果と今後の対策案」を整理した。

【得られた成果】

- 住民らによる津波避難から避難生活の一連の訓練を通じて、災害時のイメージ向上や、地域での協力体制の重要さが認識された。
- 訓練に先立ち、地区ごとに住民が避難場所を確認または新たに設定し、助け合いの方法を話し合った。また、避難時に「黄色い旗」を玄関先に掲出することを試みた。当日は、「黄色い旗」の有効性が確認できたほか、地域ごとに避難場所を確認しておくこと等、地域特性に応じた気づきが得られた。

【今後の課題】

- 防災関係機関からは、特定の地区での避難誘導・搜索・救助等に職員を派遣することの限界が指摘された。今後は、地域で生き残る意味でも、自助・共助の普及・促進に取り組む必要がある。
- 住民らの避難行動を通じて、要配慮者への支援の必要性が認識された一方で、課題や限界、避難場所の収容力等が指摘され、今後は、市内各地の地域特性に応じて、災害時の行動を具体化しながら訓練を行う必要がある。

9:00～9:30 第 1 部 シェイクアウト訓練、津波避難訓練

全市民を対象に、地震発生を想定したシェイクアウト訓練をそれぞれの居場所で実施した。

その後、沿岸部の住民は、最寄りの避難場所への津波避難を行い（山間部では土砂災害を想定した避難）、消防団や警察等は避難誘導を行った。

このほか、上天草市役所庁舎内では、関係機関との情報伝達を、上天草総合病院では、患者等の上階への避難誘導やオレンジフラッグ掲出を実施したほか、天草ケーブルテレビネットワーク株式会社は上天草市との協定に基づき、現場映像の配信を行うなど、津波到達時の各主体での緊急行動を市内各地で一斉に実施した。

▼身体防御



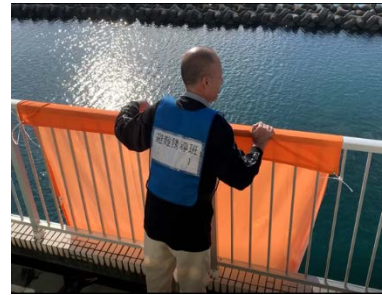
▼高台への避難



▼ビル上階への避難



▼オレンジフラッグの掲出



10:00 頃～12:30 頃 第 2 部 避難所開設訓練、応急救護訓練 等

第 1 部終了後、津波到達等により地区内が被災し、避難生活を開始した想定で実施した。

指定避難所において、避難所開設、避難生活場所の間仕切り体験、炊き出しや応急救護等の体験訓練を実施した。

なお、訓練会場により内容を一部変更し、海上保安庁による海上救助活動や消防と病院による応急救護所設置の実演・見学を盛り込んだ会場のほか、中学校では、生徒による炊き出しや、災害ボランティアの学習・体験、過去の災害の体験を聴くなどの防災学習の機会として実施した。

▼避難所開設（間仕切り組み立て）



▼応急救護



▼炊き出し



▼海難救助（海上保安庁）

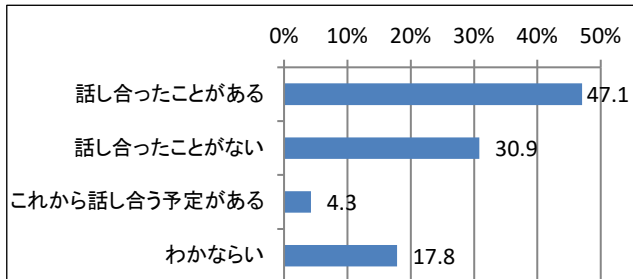


アンケート結果（一部抜粋）

参加した住民の方々に、防災意識や津波避難対策への取組状況等を把握するため、アンケート調査を実施した。（回答数：392 人）

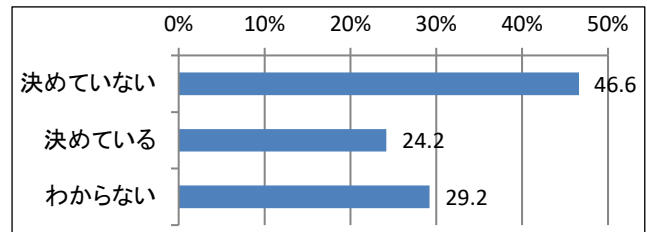
あなたの地域で「災害時の避難について」話し合ったことはありますか。

（回答数＝376）



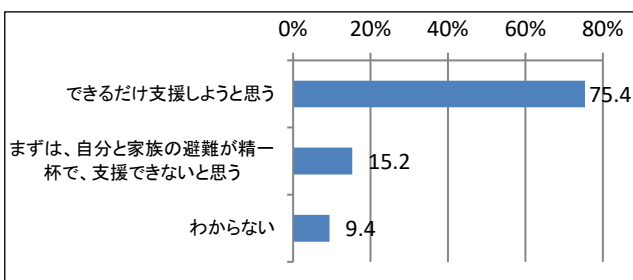
災害が発生した、または発生しそうなとき、ご近所での助け合いの方法を決めていますか。

（回答数＝339）



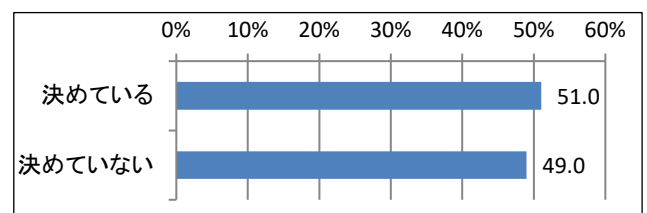
あなたが避難する際に、可能ならば「避難行動要支援者」の避難を支援しようと思いますか。

（回答数＝341）



災害時に、家族同士どのように連絡を取るか、家族の中で決めていますか。

（回答数＝341）



自由回答欄

- 災害は他所の事、位に思っていました、身近に感じられ良かった。
- 勉強になりました。いつ起こるか分からないので、日頃から頭の中に考えておかなければいけないと思った。
- 地震体験が良く分かり、大変ためになりました。
- みなさん協力し合って良かった。
- 休日はやっぱり近所の皆さんに会ったり出来ました。
- 自分の身体に不自由な事がある今避難する大変さがわかりました。
- 色々な体験ができて大変良かった。
- 自分でできること、手伝える事を中学生と一緒に体験できてよかった。
- 煙体験が怖かった。
- 初めて参加しましたが、役に立つように覚えておきたいです。

